2015年度岡山大学文学部プロジェクト研究
「ジェンダーの多層性に関する領域横断的研究」公開セミナー

『女性が輝く社会』の欺瞞

～保守運動、男女共同参画、「慰安婦」問題～

講師

山口　智美

モンタナ州立大学・ボーズマン校社会学・人類学部　准教授

入場無料
予約不要

日時

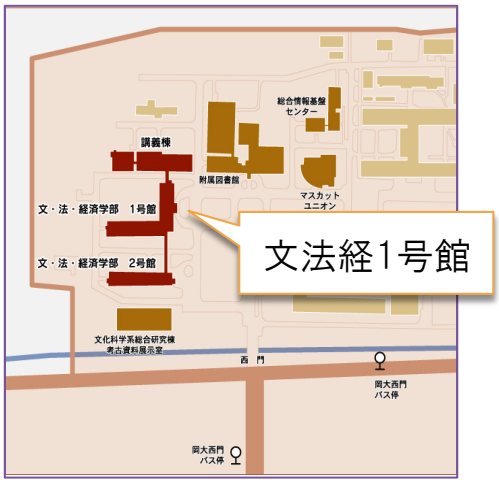
2015年
7月15日（水）
17:00～18:30

場所

岡山大学文学部会議室
（文法経1号館2階）

2000年代前半～半ば、男女共同参画条例や性教育の推進、性的少数者への差別撤廃の動きに対して反動が起きた。誰が、なぜフェミニズムを叩いたのか？保守運動関係者らへのフィールドワークに基づき、その背景に迫る。

さらに、安倍政権下の現在、新たに出てきた「女性活躍」政策だが、それにより見えなくなるものは何か？男女共同参画や「慰安婦」問題をめぐる保守の動きに焦点を当てつつ考える。



主　催
岡山大学文学部プロジェクト研究
「ジェンダーの多層性に関する領域横断的研究」グループ

お問い合わせ
社文研総務グループ・庶務担当　086-251-7345
文学部　高谷　幸　takayasachi@okayama-u.ac.jp
文学部　光本　順　jun_m@cc.okayama-u.ac.jp